国　語　科　学　習　指　導　案

令和６年６月１３日（木）　学習指導Ⅰ　第６学年３組（６年ＷＳ）　指導者　前原　聡

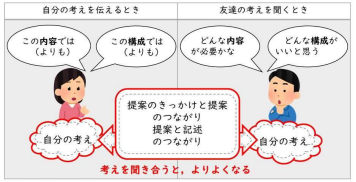
【単　元】文章全体の構成や展開を考えて，提案書を書こう（『デジタル機器と私たち』光村図書６年）

考察	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
育成を目指す資質能力	・原因と結果など情報と情報との関係についての理解（（２）ア）	・筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考える能力　（Ｂ（１）イ）	・言葉がもつよさを認識するとともに，国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度
子どもの実態	・自分たちで提案内容を思い付いたり実現することによる結果を推測したりすることができるが，課題となる原因から離れ，原因と結果の一貫性に欠けることがある。	・「始め―中―終わり」という構成を基に，内容のまとまりで段落をつくることができるが，内容を吟味したり，それぞれのまとまりを関連付けて，自分の伝えが伝わりやすい文章の構成や展開を考えたりすることに課題がある。	・自分の思いや考えを伝えようとしているが，相手のことを考慮して，一つ一つの言葉を大切にして，相手や目的に応じて，言葉を選びながら伝えることに課題がある。
価値	・本単元を貫く言語活動は，よりよい学びを目指して，デジタル機器を活用した授業改善の提案書を書く活動である。よりよい学びとは，デジタル機器を活用することで，学習者が自分の考えを形成したり，共有したりしやすくなることを指す。よりよい学びを実現するには，学習者が感じたり考えたりしていることを反映する必要がある。子どもたちは，日ごろからデジタル機器を活用して学習したり，児童会活動に取り組んだりしている。学習者の立場から授業改善を提案することは，授業者に授業を見直すきっかけを与え，学習者と授業者の相互作用による，よりよい学びの実現を可能にする。また，提案が実現しなかったとしても，学習者が授業者の意図を理解する機会となる。子どもたちは，授業者に自分の授業改善案を伝えるため，原因と結果の関係を意識しながら，内容，構成や展開を工夫することができる。		
	・子どもたちは，日ごろよりデジタル機器を活用しているため，授業における活用場面を想起しやすく，活用の改善点を見いだせる。さらに，改善点を踏まえた提案内容を考え，提案書を書く。このように，改善点と提案内容の一貫性が生まれ，デジタル機器の使い方から，授業改善による結果までの因果関係を理解することができる。	・提案書は，課題として取り上げる自分の経験や調査など，内容の工夫を考えられる。また，書き手の意図に応じて，始めに課題を述べる書き方や，始めに活動の概要を述べる書き方など，構成や展開の工夫も考えられる。それらの中から，子どもたちは授業者に自分の考えを正確に伝えるために最もよい内容，構成や展開を選択する。このように，提案書を授業者に理解してもらい，よりよい学びを実現するために，最適な内容，構成や展開を考えながら提案書を作成することができる。	・提案書は，書き手の考えを伝えることで，読み手の変容を期待するものである。文書に表した言葉や図のみで，読み手を納得させなければならないため一つ一つの言葉を吟味する。このように，言葉によって読み手を変容させることができることを実感するとともに一つ一つの言葉にこだわり，読み手に伝えようとすることの大切さを実感することができる。

見方・考え方	日ごろの授業に関する課題と提案内容，提案内容と提案書の記述との関係を，読み手を納得させるための表現に着目して捉えたり問い直したりして，提案する文や文章への自覚を高めること。
今後の学習	「書くときに使おう（『文章を推敲しよう』光村図書6年）」において，読み手の立場に立って，文章を整えていくための観点を見いだしていく学習に発展していく。

指導と評価の計画

目標	文章全体の構成や展開を考えながら，提案書を書くことができる。
言語活動	よりよい学びを目指して，デジタル機器を活用した授業改善の提案書を書く活動
評価規準	（①知　・　技）原因と結果など情報と情報との関係について理解している。（（２）ア） （②思・判・表）「書くこと」において，筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えている。（Ｂ（１）イ） （③主体的態度）進んで文章全体の構成や展開を考え，学習の見通しをもって，デジタル機器を活用した授業改善の提案書を書こうとしている。

過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○日ごろの授業でのデジタル機器の使い方を振り返り，授業改善についての提案書を書く試しの活動を通して，学習課題をつかむ。 学習課題 内容や構成を工夫して，授業をよりよくするための提案書を書こう	○提案書の内容，構成や展開を考える必要感を高めることができるよう提案書の形式を提示して，提案書を作成する機会を設定する。 ※取り上げる学習方略 	◇文章全体の構成や展開を考えて，授業改善の提案書を書くことの難しさや意義について，発言したり記述したりしている。　＜発言・振り返りシート③＞
ふかめる	1	○報告書と提案書を比較し，提案書に必要な構成や展開について考える。	○提案書に必要な構成や展開があることに気付けるよう，５年生で学習した報告書と，提案書のモデル文を載せた学習プリントを用意する。	◇提案書に「提案のきっかけ」と「提案」が記載されることについて，記述している。　＜学習プリント②＞
	1	○テーマが異なる提案書を比較し，提案書に必要な内容について考える。	○「提案のきっかけ」の内容には，「提案」と結び付く経験や調べたことなどが記載されていることに気付けるよう，内容の異なる提案書を比較する機会を設ける。	**◇「提案のきっかけ」には，「提案」に結び付く経験や調べたことなどが記載されていることについて，記述している。** **＜学習プリント①＞**
	1	○デジタル機器の使い方の改善点を基に，提案書のテーマを決め，情報を集める。	○複数の課題からテーマを決められるよう，付箋とともに，マトリクス図を用意し，分類する観点として「実現の可能性」「具体性」を提示する。	◇書き出した付箋を観点に沿って分類して，マトリクス図を作成している。　＜マトリクス図①＞
	課外	○友達に対するアンケートを実施するなど，テーマに関する情報を集める。	○テーマに関する情報を広く集められるよう，デジタル機器の使い方に関するウェブページの情報や書籍を用意する。	
	1	○提案書の構成や展開を考える。	○提案書の構成を明確にできるよう，提案に必要な内容が書かれた付箋を動かし，「始め―中―終わり」のまとまりごとに書く内容を整理する構成シートを用意する。	◇読み手に自分の考えが伝わるよう，文章の構成や展開を考え，まとまりごとに書く内容について整理している。 ＜構成シート②＞
	1	○読み手に自分の考えが伝わるよう工夫した構成や展開を基に，提案書の下書きをする。	○文章全体の構成を確かめ，修正を繰り返せるよう，提案書の書式をロイロノートに用意する。	◇「始め―中―終わり」を基にした構成や展開，内容を意識して，修正を繰り返しながら，提案書を記述している。 ＜ロイロノート②＞
	1	**○他のグループと提案書を読み合い，感じたり考えたりしたことを伝え合う。　（本時）**	○文章全体の構成や書き表し方などに着目して提案書を読み合えるよう，文や文章を整える観点「内容」「構成」を提示する。	◇「内容」「構成」の観点で他のグループの提案書を読み，感じたことや考えたことを発言したり，提案書に記述したりしている。　＜発言・ロイロノート②＞
	2	○他のグループからの伝えられたことを基に，内容，構成や展開を考え，提案書を清書する。	○適切な内容，構成や展開を確かめながら提案書を書き上げられるよう，他のグループが提案書を読み，感じたり考えたりしたことを記述した提案書を配付する。	**◇適切な内容，構成や展開を用いて，提案書を記述している。** **＜ロイロノート②＞**
ふりかえる	課外	○デジタル機器を活用した授業改善の提案書を，授業者に渡す。	○提案内容を端的に話す必要性に気付けるよう，手渡す際に伝える内容を考える機会を設定する。	
	1	○提案書と最近の授業の様子を基に，単元の学習を振り返る。	○文章全体の構成や展開に着目しながら，提案書を評価できるよう，授業者が提案書を読んで，感じたり考えたりしたことを提示する。	**◇読み手に自分の考えが伝わるよう，文章の構成や展開を工夫して，提案書を書くことのよさについて記述している。** **＜振り返りシート③＞**

本時の学習（7／10時間目）

ねらい　他のグループの提案書を読み，内容，文章全体の構成や展開などについて感じたり考えたりしたことを伝え合うことを通して，自分たちの提案書を整える観点を具体化することができる。

評価項目　「内容」「構成」の観点で他のグループの提案書を読み，感じたことや考えたことを発言したり，提案書に記述したりしている。

＜発言・ロイロノート②＞

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1　本時のめあてをつかむ。 ・私は，漢字練習でデジタル版も認めてもらうために，提案のきっかけに経験と調べたことを書いたけれど，この内容で先生は納得するのかな。 ・他のグループの友達にアドバイスをもらって，提案書を分かりやすくしたいな。（課題意識）	○観点を定めて，友達と提案書を読み合う必要性に気付けるよう，前時の振り返りシートに記載された自分たちの提案書の課題を取り上げ，解決方法を問いかける。
めあて：友達と提案書を読み合い，レベルアップのヒントをもらおう	
2　提案書を読み合い，感じたり考えたりしたことを聞き合う。 ・構成に注目すると，振り返りシートを打ち言葉でもよいことにする提案は，先生もイメージしやすいから，提案の次に提案のきっかけをつなげて説明する方がよいと思うな。矢印で示しておこう。 ・入れ替えても読んでいて分かりやすいし，こちらの方が提案にインパクトがあるから，提案書としてよいな。 ・（相手の文章を示しながら）先生にとっても，打ち言葉にすることはイメージしやすいと思うよ。提案のきっかけではなくて，提案を始めに示して，中で提案のきっかけを示したらどうかな。 ・友達に，今の提案のきっかけでは先生は納得しないと言われたよ。確かに，クラスのみんなが，漢字練習は紙がよいという人とデジタル版がよいという人がいることを示すと，読んだ人が納得しやすいね。 ・紙とデジタル版のどちらで学習するほうが漢字を覚えやすいと考えているのか，みんなにアンケートをとってみよう。 ・分かりやすい提案のきっかけになるように，アドバイスを基に，みんなにアンケートをして，結果を載せよう。　（課題を解決した意識）	○「内容」「構成」の観点を基に読めるよう，内容の過不足がある場合は線を引いて，端的な言葉で表したり，段落を入れ替えた方がよい場合は矢印で表したりすることを促す。 ○「構成」の観点で，他のグループの提案書に助言できるよう，試しに段落を入れ替えた際の，提案書の印象について問いかける。 ○自分たちでは気付かなかった文章を整える観点に気付けるよう，互いの提案書を読み終えたグループ同士から，返却し合い，考えを伝え合うよう促す。 ○「内容」「構成」の観点に沿って，他のグループの考えを聞けるよう，学習方略を提示し，他のグループの考えを聞く際に考えの根拠を問いかけることのよさを問いかける。 ○友達から指摘されたことを基に，提案書を整える具体策を見いだせるよう，指摘されたことを解決するための方法を問いかける。 ○提案書を整える具体策を見いだしたグループが，友達から指摘されたことを基に，次時に取り組むことについての見通しをもてるよう，構成シートを見返したり，調べ直したりしているグループを称賛する。
3　本時の学習の振り返りをする。 ・友達から，クラスのみんなの意見を載せるとよいとアドバイスをもらったから，アンケートの結果を載せることにしたよ。これから，分かりやすい提案書にしていきたいな。	○提案書を整える観点を具体化することができた達成感を実感できるよう，振り返りの観点「分かったこと／できたこと」「友達とうまくいったこと」を提示して，振り返りシートに記述するよう促す。